

おわりに

今回作成した「JR安芸長束駅及びJR古市橋駅周辺地区バリアフリー基本構想」では、JR安芸長束駅及びJR古市橋駅周辺のバリアフリー化を進める地区と位置付けて重点整備地区とし、各事業者が実施すべき特定事業とともに、市民、事業者、行政がそれぞれ協力しながら取り組む考え方を取りまとめました。

基本構想の目標年次は平成32(2020)年度末としています。実施すべき事業の中には、JR駅におけるスロープの改良など、できるだけ早期のバリアフリー化が期待されるものも、放置自転車の防止等や長い期間での継続的な取り組みが必要なものもあります。もちろん、すべての人が今日からでも始めることのできる「心のバリアフリー」は、目標年次に関わらない、普遍的なものであることは言うまでもありません。

本構想の作成にあたり、多くの方々から様々な御意見を頂き、参考にさせて頂きました。

今後、このJR安芸長束駅及びJR古市橋駅周辺地区において、基本構想に掲げた事業の着実な推進が必要であり、本市としても、適宜、事業者への働きかけを行いながら、バリアフリー化を推進していくよう考えています。